

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公表番号】特表2015-536207(P2015-536207A)
 【公表日】平成27年12月21日 (2015.12.21)
 【年通号数】公開・登録公報2015-080
 【出願番号】特願2015-545111(P2015-545111)
 【国際特許分類】

A 4 3 B 23/02 (2006.01)

【F I】

A 4 3 B 23/02 1 0 1 A

A 4 3 B 23/02 1 0 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月21日 (2016.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アッパーと、前記アッパーに固定されたソール構造とを有する履物製品であって、前記アッパーが、一体ニット構造で形成されるニット構成要素を含む履物製品であって、前記ニット構成要素は、

前記アッパーのカラーを形成し、および第 1 の伸張抵抗性を有し、前記カラーが、足を収容するための前記アッパー内の空洞への開口部を画成する第 1 の領域と、

前記第 1 の領域から外側へ延び、および第 2 の伸張抵抗性を有する第 2 の領域と、

前記第 2 の領域の周辺に少なくとも部分的に延び、および第 3 の伸張抵抗性を有する第 3 の領域と、

を含み、前記第 1 の伸張抵抗性は、前記第 2 の伸張抵抗性よりも小さく、前記第 2 の伸張抵抗性は、前記第 3 の伸張抵抗性よりも小さい、履物製品。

【請求項 2】

前記第 1 の領域は、ハーフゲージニットとして形成される、請求項 1 に記載の履物製品。

【請求項 3】

前記第 2 の領域と前記第 3 の領域は、フルゲージニットとして形成される、請求項 2 に記載の履物製品。

【請求項 4】

前記第 2 の領域は、前記アッパーのスロート区域に設けられる、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 5】

前記第 3 の領域内のヤーンは熱可塑性高分子材料を含む、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 6】

前記熱可塑性高分子材料は、前記第 1 の領域および前記第 2 の領域には実質的に存在しない、請求項 5 に記載の履物製品。

【請求項 7】

インレイストランドが、前記第 3 の領域を通して延びている、請求項 1 から請求項 6 の

いずれかに記載の履物製品。

【請求項 8】

前記インレイストランドは、締めひもを収容するように構成されたレースループを形成する、請求項 7 に記載の履物製品。

【請求項 9】

前記インレイストランドは、レースループを形成し、および前記レースループのペアは、互いに重なり、および締めひもを収容するように構成される、請求項 7 または請求項 8 に記載の履物製品。

【請求項 10】

前記ニット構成要素は、平らなニット構成要素である、請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 11】

アップパーと、前記アップパーに固定されたソール構造とを有する履物製品であって、前記アップパーが、足を収容するための前記アップパー内の空洞への開口部を画成するカラーを形成するニット構成要素を含み、前記カラーがハーフゲージニットとして形成される履物製品。

【請求項 12】

前記カラーはリブ編み構造を有する、請求項 11 に記載の履物製品。

【請求項 13】

前記ニット構成要素の他の領域は、フルゲージニットとして形成される、請求項 11 または請求項 12 に記載の履物製品。

【請求項 14】

前記カラーは、前記ニット構成要素の他の領域よりも小さい伸張抵抗性を有する、請求項 11 から請求項 13 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 15】

前記ニット構成要素は、前記カラーから外側へ延びている中央領域と、前記中央領域の周辺に少なくとも部分的に及んでいる周辺領域とを有し、前記カラーと、前記中央領域と、前記周辺領域は、一体ニット構造で形成され、および前記カラーは、前記中央領域および前記周辺領域よりも小さい伸張抵抗性を有する、請求項 11 から請求項 14 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 16】

前記中央領域は、前記周辺領域よりも小さい伸張抵抗性を有する、請求項 15 に記載の履物製品。

【請求項 17】

前記中央領域と前記周辺領域は、フルゲージニットとして形成される、請求項 15 または請求項 16 に記載の履物製品。

【請求項 18】

前記周辺領域内のヤーンは、熱可塑性高分子材料を含む、請求項 15 から請求項 17 のいずれかに記載の履物製品。

【請求項 19】

前記熱可塑性高分子材料は、前記カラーおよび前記中央領域には実質的にない、請求項 18 に記載の履物製品。

【請求項 20】

前記ニット構成要素は平らなニット構成要素である、請求項 11 から請求項 19 のいずれかに記載の履物製品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 9 】

本発明は、さまざまな構造に関して、上記および添付図面に開示されている。しかし、その開示が果たす目的は、本発明に関連するさまざまな特徴および概念の実施例を示すことであり、本発明の範囲を限定することではない。当業者は、添付クレームによって定義される本発明の範囲から逸脱することなく、上述した構造に対してさまざまな変形および変更を行ってもよいことを正しく認識するであろう。

本発明の精神および範囲は、添付する特許請求の範囲の中に存在するが、本願の出願時に特許請求の範囲として存在し、その一部は補正により削除された、以下の〔予備的な特許請求の範囲〕の中にも潜在する。この〔予備的な特許請求の範囲〕の記載事項は、本願明細書の開示に含まれるものとする。

〔予備的な特許請求の範囲〕〔予備請求項 1〕

アッパーと、前記アッパーに固定されたソール構造とを有する履物製品であって、前記アッパーが、ニット構成要素と、前記ニット構成要素に埋め込まれた第 1 の部分、前記ニット構成要素の外側に設けられ、および締めひもを収容するように構成されるレースループを形成する第 2 の部分、および前記ニット構成要素内に埋め込まれた第 3 の部分を有するストランドとを含み、前記第 1 の部分と前記第 3 の部分が互いに近接して配置される履物製品。

〔予備請求項 2〕

前記第 1 の部分および前記第 3 の部分は、互いに 2 ミリメートル以内に配置される、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 3〕

前記第 1 の部分および前記第 2 の部分は、前記アッパーのスロート区域と下方区域との間に延びている、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 4〕

前記ストランドは、前記アッパーの両側に設けられた複数の追加的なレースループを形成する、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 5〕

前記レースループと、別のレースループが互いに重なって、前記締めひもを収容するように構成されたレースループのペアを構成する、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 6〕

前記ストランドは、前記ニット構成要素よりも大きな伸張抵抗性を有する、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 7〕

前記ニット構成要素は熱可塑性高分子材料を含み、前記ストランドは、前記熱可塑性高分子材料に結合されない、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 8〕

前記ニット構成要素は、(a) カラーを形成するカラー領域と、(b) 前記カラー領域から外側へ延びている中央領域と、(c) 前記中央領域の周辺に少なくとも部分的に及んでいる周辺領域とを有し、前記カラー領域と、前記中央領域と、前記周辺領域は、一体ニット構造で形成され、および前記ストランドの前記第 1 の部分と前記第 3 の部分は、前記周辺領域内に埋め込まれる、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 9〕

前記周辺領域内のヤーンは、熱可塑性高分子材料を含み、前記熱可塑性高分子材料は、前記カラー領域および前記中央領域には実質的にない、予備請求項 8 に記載の履物製品。

〔予備請求項 10〕

前記ニット構成要素は、平らなニット構成要素である、予備請求項 1 に記載の履物製品。

〔予備請求項 11〕

アッパーと、前記アッパーに固定されたソール構造とを有する履物製品であって、前記

アップパーが、ニット構成要素と、前記ニット構成要素内に埋め込まれるストランドとを含み、前記ストランドから成る部分は、前記ニット構成要素の外側に設けられ、および複数のループを形成し、前記ループのペアが、互いに近接して配置されて、締めひもを収容するように構成される履物製品。

[予備請求項 1 2]

前記ループのペアは重なり構造である、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 3]

前記ループのペアは、開口を形成するように位置合わせされる、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 4]

前記ループの第 1 のペアが、前記アップパーの一方の側に設けられ、前記ループの第 2 のペアが、前記アップパーの他方の側に設けられ、前記締めひもは、前記アップパーを横切って、および前記ループの第 1 のペアおよび前記ループの第 2 のペアの各々を通して延びている、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 5]

前記ストランドは、前記ニット構成要素よりも大きな伸張抵抗性を有する、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 6]

前記ニット構成要素は熱可塑性高分子材料を含み、前記ストランドは、前記熱可塑性高分子材料に結合されない、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 7]

前記ニット構成要素は、(a) カラーを形成するカラー領域と、(b) 前記カラー領域から外側へ延びる中央領域と、(c) 前記中央領域の周辺に少なくとも部分的に及ぶ周辺領域とを有し、前記カラー領域と、前記中央領域と、前記周辺領域は、一体ニット構造で形成される、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 8]

前記周辺領域内のヤーンは、熱可塑性高分子材料を含み、前記熱可塑性高分子材料は、前記カラー領域および前記中央領域には実質的に存在しない、予備請求項 1 7 に記載の履物製品。

[予備請求項 1 9]

前記カラー領域は、ハーフゲージニットとして形成され、前記中央領域および前記周辺領域は、フルゲージニットとして形成される、予備請求項 1 7 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 0]

前記ニット構成要素は、平らなニット構成要素である、予備請求項 1 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 1]

アップパーと、前記アップパーに固定されたソール構造とを有する履物製品であって、前記アップパーが、

熱可塑性高分子材料を含むニット構成要素であって、前記熱可塑性高分子材料が前記ニット構成要素内のヤーンに結合する少なくとも 1 つの融着領域を有するニット構成要素と

、
前記ニット構成要素内に埋め込まれるストランドであって、前記熱可塑性高分子材料に結合されないストランドと、
を含む履物製品。

[予備請求項 2 2]

前記ニット構成要素内の前記ヤーンは、前記熱可塑性高分子材料を含まず、および前記ストランドに近接して配置されるヤーンを含む、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 3]

前記ストランドは、前記熱可塑性高分子材料との結合部を形成しない材料を含む、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 4]

前記ストランドの材料はナイロンである、予備請求項 2 3 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 5]

前記ストランドの材料は、ポリテトラフルオロエチレンである、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 6]

前記ストランドは、前記ニット構成要素に埋め込まれた第 1 の部分と、前記ニット構成要素の外側に設けられ、およびループを形成する第 2 の部分と、前記ニット構成要素内に埋め込まれた第 3 の部分とを含み、前記第 1 の部分と前記第 3 の部分は、互いに近接して配置される、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 7]

前記ストランドから成る部分は、前記ニット構成要素の外側に設けられ、および複数のループを形成し、前記ループのペアは、互いに近接して配置され、および締めひもが、前記ループのペアを通して延びている、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 8]

前記ニット構成要素は、(a) カラーを形成するカラー領域と、(b) 前記カラー領域から外側へ延びる中央領域と、(c) 前記中央領域の周辺に少なくとも部分的に及ぶ周辺領域とを有し、前記カラー領域と、前記中央領域と、前記周辺領域は、一体ニット構造で形成される、予備請求項 2 1 に記載の履物製品。

[予備請求項 2 9]

前記熱可塑性高分子材料は、前記周辺領域内に設けられ、および前記カラー領域および前記中央領域にはない、予備請求項 2 7 に記載の履物製品。

[予備請求項 3 0]

前記カラー領域は、ハーフゲージニットとして形成され、前記中央領域および前記周辺領域は、フルゲージニットとして形成される、予備請求項 2 7 に記載の履物製品。